

南の窓

155号

甲府南高校PTA通信
甲府市中小河原町222
山梨県立甲府南高校
PTA事務局
TEL055-241-3191(代)

令和八年度PTA役員

今年度は、四月二十一日(火)に、PTA役員会・学年委員会・全校委員会が開催され、その後、四月二十九日(水)にPTA総会が開かれました。総会において、左記の通り令和八年度PTA全校役員が承認されました。役員一同、本校の教育活動の充実と生徒の健やかな成長を支えるため、力を合わせて活動してまいります。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



会長	成村 里呂
副会長 (3年)	奥山 比呂
副会長 (3年)	矢崎 由佳
副会長 (2年)	依田 貴司
副会長 (1年)	都築 雅和
監査委員長	中村 滋幸
監査委員	角田 美歩
監査委員	中村 希
南高を育てる会会長	早川 弘太
進路後援会会長	田中 拓枝
クラブ後援会会長	長田 三枝
名誉会長 (校長)	大須賀 和浩
事務局長 (教頭)	関博史
出納員 (事務長)	古屋 正史



フロンティアスピリットとともに

PTA会長 成村里果

日頃より本校PTA活動に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年度、保護者の皆様をはじめ、先生方、地域の皆様のお力添えをいただきながら、子どもたちのより良い学校生活を支えるため、PTA活動に取り組んでおります。

本校には、長きにわたり受け継がれてきた校訓「Frontier Spirit(フロンティアスピリット)」があります。この言葉には、未知の世界へ果敢に挑戦し、困難を恐れず自ら道を切り拓き、仲間とともに新たな価値を創造する精神が込められています。変化の激しい時代だからこそ、この精神は生徒たちだけでなく、私たち大人にとっても未来を切り拓く大切な指針であると感じています。学校では、日々の授業をはじめ

め、部活動や学校行事、地域との交流など、多様な経験を通して、生徒たちは大きく成長しています。緑陽祭では、仲間と力を合わせ、一つの目標に向かって真摯に努力する生徒たちの姿に深い感銘を受けました。また、文化・芸術・スポーツなど様々な分野で全国や関東の舞台へ挑戦する生徒たちの姿は、まさに「Frontier Spirit」を体現するものです。挑戦の過程で得られる経験や仲間との絆は、生涯のかけがえのない財産になることでしよう。

PTAもまた、生徒たちの挑戦を支え、その成長を後押しする存在でありたいと考えています。今年度は「甲府南高校応援プロジェクト」として、保護者の皆様とともに学校を応援する新たな取り組みを進めております。緑陽祭ブロックTシャツの

保護者販売や、南高公式マスコット「緑助」ステッカー販売などを実施いたしました。多くの皆様からお寄せいただいた温かいご支援は、生徒たちの教育環境の充実と学校のさらなる発展のために活用してまいります。PTA活動は、学校を支援するためだけのものではありません。保護者同士、そして学校・家庭・地域がつながり、子どもたちの成長をともに見守り、喜びを分かち合う大切な場でもあります。子どもたちが安心して学び、自分らしく挑戦できる環境を築くためには、それぞれが同じ方向を向き、信頼の輪を広げていくことが何より大切です。「Frontier Spirit」は、生徒たちだけの合言葉ではありません。私たち保護者もまた、この精神を胸に、子どもたちの未来のために一歩踏み出す勇氣を持ち続

けたいと思います。その積み重ねが、甲府南高校の新たな伝統を育み、未来へ受け継がれていくことを信じています。結びに、本校で学ぶすべての生徒が夢や目標に向かって力強く歩み続けられること、そして甲府南高校が校訓「Frontier Spirit」のもと、さらなる魅力と活力にあふれる学校として発展し続けることを、心より願っております。私たちPTAもまた、子どもたち一人ひとりの歩みに寄り添い、ともに未来を支えてまいります。今後ともPTA活動への変わりぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願

い申し上げます。



甲府南高校のつながり

校長 大須賀和浩



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。高校生になると、子どもたちは少しずつ親の手を離れ、自立へ向かって歩み始めます。しかし、その成長を支えているのは、ご家庭での日々の支えです。毎朝の声かけや健康管理、お弁当づくり、部活動への送り迎え、そして進路実現に向けた励ましや受験のサポートなど、保護者の皆様は計り知れないものがあり

ます。四月から授業公開、緑陽祭、野球応援など、多くの保護者の皆様に本校の様子をご覧いただきました。そのたびに、本校の教育活動が保護者の皆様の支えによって成り立っていることを、あらためて実感しております。子どもたちは、その思いを言葉にしないこともあります。しかし、必ず心の中で受け止めて、自分の力へと変えて成長していきます。そのことを強く実感するのは、在学中ではなく、巣立った後のSNSによる近況報告や、ふとした折に伝えられる家族への感謝の言葉なのかもしれません。

さて、かつて私の子どもがお世話になった小学校の先生が、七月に本校で開催された理数ラボの昆虫コーナーで声をかけてくださいました。先生はご自身のお子さんと一緒に参加されており、お子さんは本校生徒の説明に熱心に耳を傾けておられました。その姿は、将来の南高生そのものでもありました。また、本校二年生が小学生に昆虫の魅力を熱心に伝える姿を見てみると、本校の魅力があらためて感じ、うれしい気持ちになりました。知識を伝えるだけでなく、自らの興味や学びを言葉にし、相手に届けようとする姿勢は、本校が大切にしている学びの姿そのものです。さらに、先生との会話を通して、保護者として学校と関わ

りた頃の懐かしい思い出もよみがえりました。あらためて、人々との縁やつながりの重み、そして温かきを感じるひとときとなりました。これからも甲府南高校は、保護者の皆様とのつながりを大切にしながら、生徒一人一人の可能性を育み、夢の実現を支えてまいります。生徒たちにとって本校が未来へと開く「夢への窓」となれるよう、教職員一同取り組んでまいります。

Man in the Mirror

南高を育てる会会長 早川 弘太

最近映画が大ヒットしたマイケル・ジャクソンの名曲『Man in the Mirror』には、「世界を変えたいなら、まず鏡の中の自分を変えよう」というメッセージがあります。何かを変えたいとき、周りや環境のせいにせず、自分自身が一歩踏み出す「行動すること」の大切さを教えてくれる歌です。

現代は情報があふれる時代です。スマホ一つで何でも調べられ、口

コミやSNS、AIからも多くの情報を得られます。その便利さの一方で、「失敗しそう」「コスバやタイパが悪そう」と考え、情報収集だけで終わってしまうことも少なくありません。しかし、今の世の中で僕らの成長につながる重要な力は、情報を集めることではなく、「ある程度調べたら、とりあえずやってみる力」ではないでしょうか。饅頭だつて眺めている

だけ、饅頭について検索していくら調べても実際美味しくないかどうかは食べてみないとわかりませんよね。まずかつたらベツと出せば良いんです笑。1日1日を素晴らしいものにするために失敗を恐れすぎず、「とりあえずやってみよう」という気持ちを子どもたちにはもちろん私たち大人も持ち続けたいですね。



優先する力

進路後援会会長 田中 拓末

子どもの受験を経験した保護者として、今でも心に残っている言葉があります。それは、受験を終えた卒業生から聞いた「結果を出した人は特別な才能があったわけではなく、自分の目標を優先して行動していた人が多かった」という言葉です。

友人との時間や趣味など、さまざまな楽しみがある中で、自分の将来のために何を優先すべきかを考え、日々努力を積み重ねてきた人ほど、受験後に充実感を感じて

いたそうです。



「もつと勉強しておけばよかった」という声はよく聞きますが、「もつと遊んでおけばよかった」という声はあまり聞きません。この言葉には、受験だけでなく人生においても大切な考え方が込められているように感じます。

受験は学力だけを競うものではなく、目標を定め、その実現に向けて努力を継続する力をつける貴重な機会です。その経験は進路後や社会に出てからも必

「南高Fan」として

クラブ後援会会長 長田 三枝

先日、甲府南高校の学園祭「緑陽祭」に伺い、校内にあふれる生徒たちの活気に元気をもらいました。どの企画にも生徒の主体性と創意工夫が感じられ、日頃の学校生活の充実が伝わってきました。母校らしい温かな雰囲気を感じて感心しました。

今年度のPTA役員の皆様も、

リサイクル募金の継続や、Tシャツやステッカーの販売といった新たな取り組みに力を注がれており、行事を支える保護者の皆様のおかげで、学校への温かな思いを感じ、応援したい気持ちになりました。私自身、甲府南高校の卒業生であり、在学中はバレー部で仲間とともに汗を流した思い出が今も鮮明に残っています。現在は小学校



で働いていますが、教え子たちが甲府南高校で勉強や部活動に励み、輝いている姿を見ると、心から嬉しく誇らしい気持ちになります。ステッカーにありました「南高Fan」として、これからも母校の発展と生徒の皆さんの成長を応援していきたいと思っています。

失敗できる今こそ、恐れずに挑戦してほしい

三学年委員長 奥山比呂

保護者と学校の距離が近くなることは、生徒たちにとって大きなプラスになると信じ、PTA活動に携わってきました。先生方と対話を重ねるたび、立場は違えど「生徒たちの未来を明るくしたい」という思いは一つであると強く実感しています。

そんな子どもたちの可能性とまぶしい輝きを感じさせてくれたのが、先日緑陽祭でした。卒業し

野球部が教えてくれた「開拓者精神」

一学年委員長 依田 貴司

甲府南高校は、校訓「開拓者精神」のもと、「真・善・美」を追究しながら、高い目標に果敢に挑戦する気風にあふれているが、今夏の野球部の戦いでした。

清水亮太先生の情熱あふれる指導のもと、野球部員達は勝利を目指し、日々厳しい練習に励んできました。相手は私学の強豪・帝京第三高校。選手達は最後まで諦めることなく、一球一球に思いを込め、仲間を信じて全力で戦い抜きました。その姿は、勝敗を超えて私達の心を大きく揺さぶり、深い感動を与えてくれました。

選手達は高校生活の多くの時間を野球に捧げてきました。仲間とともに汗を流し、苦しさや悔しさ乗り越えながら成長していく姿を、保護者として間近で見守ることができたことは大きな喜びであり、誇りでもあります。

試合当日、アルプススタンドには生徒、保護者、教職員の思いが一つになっていました。大須賀和浩校長先生が大きな声で声援を送り続ける姿からは、生徒を大切にしている甲府南高校の温かさや一体感が伝わってきました。また、シンガーソングライターの仲太郎さんから「甲府南高校の行進が最も立派だった」と評価をいただいたことも、大変誇らしく感じました。



試合だけでなく、礼節を重んじる姿勢にも南高生の素晴らしさが表れていたのだと思います。

野球部の挑戦を通して感じたことは、「開拓者精神」は野球部だけのものではないということです。部活動や学習、探究活動など、それぞれの舞台で懸命に努力するすべての生徒達の姿に「真・善・美」の精神が息づいています。甲府南高校で培った仲間との絆と挑戦する心を胸に、生徒一人ひとりが自らの未来を切り拓いていくことを心から願っています。

「フロンティアスピリット」がたぐバトン

一学年委員長 都築 雅和

我が家の三女が甲府南高校に入學し、はや五か月が過ぎました。長女が南高で育み、大学を経て社会人として誇らしく働く姿を見てきたからこそ、南高の持つ確かな教育力を深く実感しています。今年度入学した三女は、軟式テニス部に所属しています。進学校ならではの課題量とハードな部活動。「時間が足りない！」と頭を抱えながら両立に挑む姿は、どこか苦しそうで、けれどそれ以上



に、新しい世界を全力で泳いでいるような生き生きとした眩しさがあります。甲府南高校の校訓である「フロンティアスピリット（開拓者精神）」それは、目の前の壁に泥臭く立ち向かい続けることそのもので、なにより続けることそのものに突き当たったとき、悩んだり壁の芽が育つチャンスです。「文武両道」の真価とは、上手にこなすことではなく、もがきながらも

前へ進む強さを育むことにあるように思います。自分が選んだ道を信じて突き進んだ先に、まだ見ぬ最高の景色が必ず待っているはず。生徒の皆さん、目の前の「文武両道」という困難を恐れず、仲間と共に甲府南高校での学生生活を思いきり楽しんでください。未知の可能性を拓く皆さんの青春を、保護者として心から応援しています。



ていきます。だからこそ生徒の皆さんには、本校の校訓である「Frontier Spirit（開拓者精神）」を胸に、緑陽祭をはじめとする学校生活の中で、恐れずに多くの挑戦と失敗、そして成功を積み重ねてほしいと願っています。私たち保護者は、皆さんが未来を切り拓いていく姿を、これからも心から応援しています。

PTA活動のさらなる挑戦

三学年副委員長 矢崎 由佳



スマホ一つで必要以上に情報が入ってくる時代、子どもたちには情報をそのまま右から左へ流すのではなく、得た情報を元に自分自身で考え、独自の意見をアウトプットできる人になってほしいと思います。自分で考え経験する中には成功だけでなく、時には失敗もあるかもしれませんが、けれど、すべての経験において無駄なことは何一つないはず。緑陽祭では、子ども

たちが各々の役割に真剣に取り組む、そして全力で楽しむ姿がとても眩しく輝いて見えました。そんな子どもたちの成長を支えるためのPTA活動も、負けてはいられません。これまで先輩方が築いてきた想いを受け継ぎ、今年度は新たな取り組みとして『甲府南高校応援プロジェクト』を立ち上げました。子どもたちが充実した高校生活を送

るための助けになればという思いから、「緑陽祭ブロックTシャツ保護者販売」や「緑助ステッカー販売」を行ったところ、大変多くの皆様にご協力いただきました。今年で三年目となる「リサイクル募金」も徐々に浸透し、ご来校時に持ってきてくださる方や、ご自身で「きしゃぼん」へ連絡してくださる方が増え、南高への温かい思いを感じております。南高生の保護者である私たちも「Frontier Spirit」を大切に挑戦し続けますので、引き続きご協力よろしく願っています。

これまでのPTA活動

これまでの主な活動について報告いたします。

●六月十日(水)

PTAあいさつ運動

一年生の役員の皆様による登校時のあいさつ運動が実施されました。当日は十一名の役員の方にご参加いただき、生徒と役員の皆様が元氣よくあいさつを交わし、爽やかな朝のひとときとなりました。

●緑陽祭保護者Tシャツ・「緑助」ステッカー販売

四月二十九日(水) PTA総会において、緑陽祭保護者Tシャツの受注を行いました。また、緑陽祭当日には、本校のマスコットキャラクター「緑助」のステッカーを販売しました。

この活動は、収益を学校へ寄付し、教育活動の充実に役立てていただくことを目的として実施しています。多くの皆様に趣旨をご理解いただき、ご協力をいただいた結果、緑陽祭保護者

Tシャツの売上金二八五、四〇〇円、ステッカーの売上金二二、五〇〇円、合わせて四〇八、九〇〇円を学校へ寄付することができました。

皆様からいただいたご支援は、子どもたちの学校生活をより豊かにするために活用される予定です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

PTAでは新たな企画についても検討を進めています。子どもたちの学校生活を応援する活動をさらに広げていけるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●リサイクル募金・フードドライブ活動

四月二十九日(水)のPTA総会および六月二十六日(金)二十七日(土)の緑陽祭にあわせて、リサイクル募金「きしゃぼん」を実施しました。また、七月十三日(月)〜十七日(金)の三者懇談期間には、リサイクル募金とフード

ドライブ活動を行いました。

多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。リサイクル募金で集まった品物は、順次リサイクル募金「きしゃぼん」へ送り、学校への寄付金として活用されています。

また、今回のフードドライブ活動で集まった食品は、「フードバンク山梨」へ届けました。皆様のご協力により、六十七、四kgの食品を寄付することができました。

今回の活動は、十月の三者懇談期間中に実施する予定です。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



今後の活動予定

(九月四日以降)

●九月十六日

第二回あいさつ運動(三年)

●九月二十六日

ボランティア清掃活動

●十月十六日

親からのメッセージ2026(二年)

●十月二十七日・三十日

リサイクル募金・フードドライブ活動

●十一月十一日

第三回あいさつ運動(二年)

●十二月二日

PTA常任委員会

●二月十日

PTA学年委員会(全学年)

●三月一日

卒業式、PTA新聞「南の窓」(後期)発行

各行事について変更がある場合は、本校ホームページに掲載します。



緑陽祭

第六十二回緑陽祭が、六月二十三日(火)、二十六日(金)二十七日(土)の三日間にわたって開催されました。「超南問」青春の解答、ここに。」をテーマに、緑陽祭実行委員会を中心に準備が進められました。体育祭は、午前中に小瀬スポーツ公園J・T・Tリサイクルインクスタジアム、午後は小瀬体育館で実施されました。リレーや長縄跳びなどの競技が行われ、子どもたちはクラ

スやブロックの仲間とともに競技に臨みました。文化祭では、文化局発表や南高ソング、クラス参加企画、造形コンクールなど、多彩な催しが行われました。一般公開には二、三〇〇人を超える来場者が訪れ、校内は大いににぎわいました。来場された保護者の皆様にも、子どもたちの創意工夫や日頃の活動の成果をご覧いただくことができました。子どもたちのいきいきとした姿や成長を感じることのできる、充実した三日間となりました。

テーマ 超南問 ~青春の解答、ここに。~

第62回 緑陽祭

令和8年6月26日(金)・27日(土)

<https://www.kofuminami-h.ed.jp> 山梨県立甲府南高等学校生徒会



保護者の皆さまへ ～南高フアンの輪～

教頭 関 博史



日頃より、本校の教育活動ならびにPTA活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

高校生になると、保護者の皆さまが学校を訪れる機会は意外と少なくなります。入学式やPTA総会、保護者会、学園祭などを合わせても、年間数回という方が多いのではないのでしょうか。しかし、その限られた機会だからこそ、ぜひ積極的に学校へ足を運んでいただきたいと思います。

学校には、授業、部活動、学校行事、生徒会活動など、生徒たちが生き生きと活動する姿があります。普段は家庭で見ることのできない一面や、仲間と協力して成長していく様子を実際に見ていただくことは、お子さまへの理解を深めるだけでなく、本校の教育活動への理解にもつながるものと思います。

先日の学園祭では、PTAの役員のみならず、発案による保護者向けの緑陽祭Tシャツの販売が予想をはるかに上回る大盛況となりました。多く

の皆さまにお買い求めいただき、改めて本校への温かい思いを感じ、大変うれしく思いました。

最近「推し活」という言葉をよく耳にします。もちろん学校は応援の対象として語るには少し大げさかも知れませんが、しかし、保護者の皆さまにはぜひ甲府南高校のファン「南高ファン」になっていただきたいと思います。学校のことを知り、興味を持ち、生徒たちの頑張りを応援していただくことは、子どもたちにとって大きな励みになります。そして、その応援の輪が学校全体の活力にもつながっていきます。

今後PTA活動や学校行事へのご参加、ご協力をよりよくお願いいたします。保護者の皆さまと学校が力を合わせ、生徒たちの成長を支えていければ幸いです。どうぞこれからも甲府南高校を温かく見守り、「南高ファン」となってもらえれば幸いです。

第72回 関東地区高等学校PTA連合大会(群馬大会)

七月三日(金)に群馬県高崎市のGメッセ群馬で開催された「第72回関東地区高等学校PTA連合大会群馬大会」に参加いたしました。本大会には関東地区各県のPTA関係者が集い、これからの学校教育やPTA活動の在り方について学び合う貴重な機会となりました。本校からは、PTA会長の成村様と教頭の二名で参加しました。

午前中には開会行事に続き、「築地銀だこ」を全国・海外へ展開している株式会社ホットランドホールディングス代表取締役社長の佐瀬守男氏による記念講演が行われました。講演では、挑戦を続けることの大切さや、人とのつながりを大事にしながらかつた価値を創造していく姿勢について語られ、生徒の成長を支える私たちにも多くの示唆を与えてくださいました。

午後は茨城県と栃木県の二校のPTA活動の実践発表が行われ、それぞれの地域や学校の特色を生かした取組を知ることができました。保護者と学校が協力し、生徒一人ひとりの成長を支えていくことの重要性を改めて実感しました。

今回の大会で得た学びと他県の先進的な取組を、



本校の教育活動やPTA活動の充実につなげていきたいと考えております。今後とも、学校と家庭地域が連携しながら、生徒たちの健やかな成長を支えてまいります。PTAの皆様のご理解とご協力をよりよくお願いいたします。

Pick up! 全国の舞台で大きく羽ばたく

陸上競技部 野澤和心さん

インターハイ優勝!

今夏、滋賀県で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)女子三段跳で、本校陸上競技部2年の野澤和心さんが12m88cmを記録し、見事優勝を果たしました。この記録は大会記録を更新する快挙でもあり、全国の頂点に立つ素晴らしい結果となりました。



野澤さんは中学校時代、短距離種目を中心に競技に取り組んでいましたが、高校進学後に三段跳へ挑戦。持ち前のスピードと努力を武器に記録を伸ばし、高校1年時にはJOCジュニアオリンピックカップU18陸上競技大会で第3位入賞、さらに関東高校選抜新人大会では大会新記録で優勝するなど、全国レベルの選手として着実に成長してきました。インターハイ優勝について野澤さんは、

「自分の中では良い跳躍をすることができました。インターハイに来られたのも先生方や部の仲間、応援してくださる皆さんのおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。」と振り返っています。また、「今年中に13メートルを跳びたいです。」と、すでに次の目標を見据えています。

全国優勝という輝かしい成果は、本人の努力はもちろん、家族や指導者、仲間たちの支えがあってこそ成し遂げられたものです。野澤さんの挑戦する姿は、多くの生徒たちに勇気と希望を与えてくれています。さらなる飛躍を目指す野澤さんへ、これからも温かい応援を送りたいと思います。

令和8年度 山梨県高校総合体育大会

令和8年度山梨県高等学校総合体育大会において、本校は男子総合9位、女子総合8位という素晴らしい成績を収めました。

陸上競技部は、男子が総合第2位、女子が総合第1位(6年連続6回目)に輝くなど、多くの種目で上位入賞を果たしました。

また、ソフトテニス部男子は団体第3位、卓球部女子は団体ベスト4、山岳部男子は団体第3位に入賞しました。さらに、水泳部男子個人自由形100m第2位、弓道部女子個人第6位、バドミントン部女子ベスト8など、各部が日頃の練習の成果を発揮しました。

令和8年度 全国高等学校総合体育大会出場

・剣道部 倉知芽生さん(1年)

・陸上競技部

走幅跳 仁科希来さん(2年)

野澤和心さん(2年)

三段跳 野澤和心さん(2年)

令和8年度 全国高等学校総合文化祭秋田大会出場

- ・管弦楽部 7名
- ・競技かるた(文芸部) 宮治凜花さん(3年)
- ・書道部 田中未優さん(3年)

第48回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会出場

- ・文芸部(競技かるた支部)
- 個人戦 9名
- 団体戦 8名

第15回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- 銅賞
- ・音楽部 10名

第77回 関東高等学校水泳競技大会

- ・水泳部 中沢友輔さん(2年)

第108回全国高等学校野球選手権山梨大会

7月7日(火)、本校野球部は全国高等学校野球選手権山梨大会の初戦で帝京第三高等学校と対戦しました。会場となった山日YBS球場には、生徒会本部役員と応援団を中心として、生徒、教職員、保護者が集まり、全校応援が行われました。

試合は序盤から両校ともに得点を許さない緊迫した展開となり、息詰まる好ゲームが繰り広げられました。球場には生徒たちの力強い応援が響き渡り、選手たちを後押ししました。

ご声援をいただきました皆様、ありがとうございます。今後とも本校野球部への温かい応援をよりよくお願いいたします。